

## 令和4年度 第1回精華町町民健康づくり推進協議会 欠席委員からの意見書

No	資料	項目	意見・質問	説明・回答
1	[資料4-2] 第3次精華町食育 推進基本方針の評価	「地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や食事のマナーなどを伝えている者の割合」について	■コロナ禍で実家への帰省頻度が減少し、実家で毎年していたおせち料理を作る経験もできなくなり、伝統料理から自分自身が離れてしまっている。広報誌の「あすなるクッキング」コーナーで、季節の伝統料理を紹介してはいかかでしょうか。	ご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。
2	[資料4-3] 精華町元気生活 チェック調査結果 (概要) (P1)	アンケート回収状況について	■アンケートの回収率が38.7%は低すぎるのでは？この回収率で住民の意向を反映していると言って問題ないのでしょうか？平成25年の「第2期精華町健康増進計画」では回収率が45.7%、平成30年「中間評価・見直し」では43.4%でした。参考に他の法定計画の「精華町第9次高齢者保健福祉計画：介護保険事業計画（令和3年）」は回収率57.8%でした。計画の内容や調査対象が異なるため一概に比較はできないと思いますが、個人的には50%の回収率は欲しいと思いました。	高齢者に比べて若い年代はアンケートの回答率が低い傾向にあり、令和3年8月に本町で実施した「精華町次期総合計画策定に向けたアンケート調査」（対象者16歳以上4000人）においても回答率32%と低い結果となっています。調査方法も含めて、今後検討していきます。
3	[資料4-3] 精華町元気生活 チェック調査結果 (概要) (P19~22)	歯科について	■ <u>昨年度より高齢者歯科健診が行われています。歯科疾患だけではなく、口腔機能の衰えの有無を検査することにより、オーラルフレイル（口腔機能の低下）を防止し、健康寿命を延ばすことを目的としています。また国民皆歯科健診の導入も国で検討され始め、口腔管理が後まわしになりがちな30~40代の歯科健診受診者を増やすことにより、お口の健康の向上に寄与できると考えます。全世代で口腔内の状態がよくなることにより皆様の日々の生活が楽しく、そして健康の向上に少しでも役に立てればと考えます。</u> ■11月24日（木）歯科の講演会を行います。オーラルフレイルなどの話をする予定です。	歯科医師会と連携しこれまでも何度か歯科講演会を開催しました。コロナにより3年ぶりの開催となります。ぜひ、みなさんお申し込みください。

No	資料	項目	意見・質問	説明・回答
4	その他	健康づくりについて	<p>■医療費の削減のため、国が計画策定を勧めている状況は理解しているが、そもそも健康づくりとは個人が意識して取り組むべきことで、行政が強制すべきことではないと考えています。行政がすべきことは「きっかけづくり」「機会の提供」であると考えている。</p>	<p>健康づくりへ動機づけのため、周知・啓発や機会の提供に引き続き努めてまいります。</p>
5	その他	健康づくりについて	<p>■外国では、社会人になってからでも大学に通い学ぶ人がたくさんいる。逆に日本は学校を卒業したら就職、というようにルートが固定されている。また50～60代で人生を終えていたが時代もあるが、現代は人生100年時代。それでも未だに定年退職後の再就職の難しい状況がある。同じレールに乗れなくても、失敗しても、定年退職後も、多様性が認められ、何度でも再チャレンジできる社会になってほしいと思う。また、再チャレンジできるためにも一人ひとりが目標や生きがいをもって生活することが大事であると思う。</p> <p>■行政の役割（案）：<u>目標・生きがいを持つことの大事さを、行政がSNSなどを上手に活用して、元気で活躍している人の声を発信。</u></p> <p>■精華町には企業が多く、有能な人材が多数いる。<u>夜間人口（住民）だけでなく、昼間人口（町外に居住している在勤者）ともっと連携すればもっと活動の広がりができるのでは？</u></p>	<p>精華町は健康の概念を「病気や障害の有無に関わらず、病気予防と元気増進のバランスをとりながら、その人らしく生きている状態」とらえ、これが健康増進計画の基となっています。そして、元気増進の概念として、「生きがいや目標があること」「自分らしさ」などの要素が大事と考えています。今後も元気増進を推奨するため、プロジェクトの活動の周知やご意見を参考に新しい人材発掘に努めてまいります。</p>
6	<p>[資料5] 第3期精華町健康増進計画及び第4次精華町食育推進基本方針（案） （P13）</p>	<p>基本目標2 楽しく身体を動かそう</p>	<p>■町民体育大会がなくなり、多くの住民が集い運動に汗を流すことができなくなっています。町全体は難しいとしても、中学校区で地域運動会のようなものができれば、地域コミュニティの活性化につながるのではないのでしょうか。</p>	<p>運動の機会として、ウォーキング団体と協働で親子参加のまちあるきイベント（まち歩きお宝発見ウォーク）の開催や、町民体育大会に代わる運動イベントとして体育協会と合同で令和元年度に「せいか健康・スポーツ交流フェスティバル」を開催しました。コロナにより令和2年度から実施できていない状況です。今後はwithコロナの中でつながりづくりを意識した運動の取組の必要性を感じております。今後の取組の参考にさせていただきます。</p>

No	資料	項目	意見・質問	説明・回答
7	[資料5] 第3期精華町健康増進計画及び第4次精華町食育推進基本方針(案) (P13)	基本目標2 楽しく身体を動かそう	■せいか歩数計アプリを活用しています。1日1万歩を目標に歩いていますが、京町セイカさんからのコメントが励みとなっています。このアプリの普及増進を図ったら良いと思います。ウォーカーはほんまにたくさんいますので。	アプリをご活用くださりありがとうございます。歩数計の利用や歩数については、今回のアンケートで調査しており、歩数計利用者は、24.8%(平成29年)→37.6%(令和4年)に増えています。引き続き、町での広報と合わせて、ぜひ、地域の方にも広めていただき、ロコミでの広がりにも期待しています。
8	[資料5] 第3期精華町健康増進計画及び第4次精華町食育推進基本方針(案) (P20)	基本目標2 地産地消の推進	■中学校に給食が導入され、さらに地元の食材を使用したメニューを取り入れていただきたいと思えます。家庭菜園やプランターを活用した野菜づくりなど、今後予想される食糧危機への対策につなげられるのではないのでしょうか。	精華町食育推進庁内連携調整会議で、いただいた意見を参考に関係課と協議させていただきます。
9	[資料5] 第3期精華町健康増進計画及び第4次精華町食育推進基本方針(案) (P21)	基本目標5 食品ロスの削減	■学校給食などからの不使用食材を活用して子ども食堂などに転用できないかと思えます。育ちざかりの子どもたちの支えになればと思えます。	精華町食育推進庁内連携調整会議で、いただいた意見を参考に関係課と協議させていただきます。
10	[資料4-1] 第2期精華町健康増進計画の評価		■コロナ禍の影響か、健診受診率の低さや仲間や人間関係の少なさ、子どもの運動習慣の減少、テレビ・ゲーム時間の増加などが気になりました。	本町としましても、アンケート調査の結果により、対策が必要と考えています。引き続き、つながりを意識した取組を実施するとともに、子どもの生活習慣については、学校等とも連携し、啓発等に取り組んでまいります。
11	その他	健康づくり協議会 に対する期待	■具体的なアクションプランについて住民側、行政側がもっと意見を出し合える場になればと思えます。私はせいか365プロジェクトの『野菜カフェレストラン』に所属し、ワイワイ話しながら野菜を育てて、料理して食べるという活動をしております。このような活動をもっと広く紹介し、支援することが、精華町全体の健康推進に効果的で役立つ有効な手段であると思えます。	せいか365プロジェクトに参加している立場でのご意見、ありがとうございます。本プロジェクトは、健康づくりを住民協働で実現している精華町独自の取組です。参画者は一般町民と比較して、健康に関するデータが良好であり、今後もプロジェクト参画者数やプロジェクト数を増やしていきたいと考えています。